



# ERAS(術後回復促進策)セミナー

【日時】 平成29年9月29日(金) 19:00～20:30 (18:30 受付開始)

【会場】 久留米大学病院 本館 4階  
「共同カンファレンスルーム」

【対象】 医師(主に外科医師)

【主催】 久留米大学医学部外科学

【参加費】 500円

## 【プログラム】

- 1) 開会の挨拶 赤木 由人 先生 (久留米大学医学部外科学 主任教授)
- 2) 講演(19:00～20:00)  
座長: 石橋 生哉 先生(公立八女総合病院 診療部長 兼 外科部長)  
演者: 谷口 英喜 先生(済生会横浜市東部病院 周術期支援センター長)

## 【演題】

チームによる術後回復促進策

～ゴッドハンドよりも充実した周術期支援システムを求めて～

## 【講演内容】

わが国は、超高齢化社会へ突入し、医療経済の圧迫に伴い周術期の管理は変換期を迎えています。手術適応は拡大され、高齢者および合併症を有した症例に対しても手術が実施され、腹腔鏡やロボット手術などにより手術の低侵襲化がすすみ、在院日数の短縮が望まれるようになってきました。周術期管理も複雑化し、一人の医師による優れた管理ではなく、どの医師が行なってもある程度の質が保たれた管理が望まれるようになってきました。

北欧から発信された術後回復促進策(ERASプロトコル)により、周術期の安全性向上、合併症の低減、在院日数の短縮が達成されることが報告されました。

わが国でも、多職種による、多角的アプローチを駆使した、周術期管理チームによる術後回復促進策の導入が全国で進んでいます。

本講演では、術後回復促進策(ERASプロトコル)とは何か、その背景や必要性、価値を説明し、実践している事例として、済生会横浜市東部病院の周術期支援センターの立ち上げから実施までの経過と、その効果に関して状況を報告します。

また、全国に普及させるための国への働きかけについても触れます。

わが国の医療の現状に即した術後回復促進策について議論をすすめたいと思います。

- 3) 質疑応答(20:00～20:30)

※当日は、軽食と飲み物をご用意しております。

## 【お申込・お問合せ先】

久留米大学医学部外科学赤木教授室 担当: 横溝

TEL: 0942-31-7566 / FAX: 0942-34-0709

